

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 01 雇用の創出と雇用環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
労働者 企業	雇用が創出されるとともに、労働者の福利厚生が充実しています。

施策の成果状況と評価

指標	有効求人倍率（年平均）（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	倍	1.07	1.20	0.93	➔
評価	（状況）有効求人倍率（年平均）は、0.93倍となっており、前年度と比較すると0.27ポイント減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると0.14ポイント減少しました。ただし、令和2年10月を底に回復傾向となっています。 （原因）新型コロナウイルス感染症の感染拡大とともに、経済の停滞や先行きの不透明感から企業の求人数が減少したことが、原因と考えられます。	(倍) 					目標 達成度

指標	雇用保険受給者実人数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	人	5,537	4,939	6,074	➔
評価	（状況）雇用保険受給者実人数は、6,074人となっており、前年度と比較すると1,135人増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると537人増加しています。ただし、令和2年7月を底として、回復傾向が見られます。 （原因）新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた事業所からの離職者があったためと考えられます。	(人) 					目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 企業誘致の推進

基本事項 02 雇用の確保

基本事項 03 労働者福利厚生の充実

基本事項01 企業誘致の推進

指標	市内立地企業数（累計）（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工課】	社	3	9	9	9	---
評価	<p>(状況) 県工業開発条例に基づく新設の工場設置届出書によると、市外からの市内立地企業数（累計）は9社であり、前年度から変更ありません。ただし、総合計画基準値（H28）と比較すると6社増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 全国トップクラスである本市の企業立地支援制度の周知及び国の制度である「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金」制度の活用が図られている反面、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度は企業への周知機会が減ったこと、また、企業の景況が不安定であったことから、新たな企業の進出がありませんでした。</p>					目標 達成度	

基本事項01 企業誘致の推進

指標	市内立地企業による雇用量（累計）（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工課】	人	38	221	221	114	---
評価	<p>(状況) 県工業開発条例に基づく新設の工場設置届出書によると、市内立地企業による雇用量（累計）は221人であり、前年度から増加していませんが、総合計画基準値（H28）と比較すると183人増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 全国トップクラスである本市の企業立地支援制度の周知及び国の制度である「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金」制度の活用が図られたことにより、昨年度まで順調に増加していますが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、立地企業による雇用量が創出されませんでした。</p>					目標 達成度	

基本事項02 雇用の確保

指標	市主催就職支援事業による就職者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工課】	人	33	14	6	37	---
評価	<p>(状況) 市主催就職支援事業による就職者数は6人で、前年度と比較すると8人減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると27人減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、市の事業の中止や内容を変更しての実施のほか、企業の採用意欲が減少していることが要因と考えられます。</p>					目標 達成度	

基本事項02 雇用の確保

指標	ハローワーク須賀川における就職率（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工課】	%	40.1	40.2	36.6	→	---
評価	<p>(状況) ハローワーク須賀川における就職率は36.6%で、前年度と比較すると3.6ポイント減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると3.5ポイント減少しています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、経済の停滞や先行きに不透明感が出てきたことから企業の採用意欲が低下したことが原因と考えられます。</p>					目標 達成度	

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 企業誘致の推進

基本事項 02 雇用の確保

基本事項 03 労働者福利厚生の充実

基本事項03 労働者福利厚生の充実

指標	勤労者互助会の加入者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	人	221	206	199	250
評価	<p>(状況) 勤労者互助会の加入者数は199人で、前年度と比較すると7人減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると22人減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、企業の採用が低調で、求人が減少したことが要因と考えられます。</p>					目標 達成度	

基本事項03 労働者福利厚生の充実

指標	勤労者福利厚生施設利用者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	人	14,594	13,625	4,306	19,000
評価	<p>(状況) 勤労者福利厚生施設利用者数は4,306人で、前年度と比較して9,319人の減少となり、総合計画基準値（H28）と比較すると10,288人減少し、順調ではありません。</p> <p>(原因) 対象施設である勤労青少年ホームが令和元年度をもって廃止されたことや新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による貸館の中止などが要因と考えられます。</p>					目標 達成度	

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 02 農林業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
農業者	農業経営の効率化により、農業所得の安定・向上が図られています。

施策の成果状況と評価

指標	1戸当たりの農業所得（参考値） 【農政課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		千円	563	469	362	→	
評価	(状況) 1戸当たりの農業所得は362千円で、前年度と比較すると107千円減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると201千円減少しており、順調ではありません。 (原因) 本市農業は水稲が中心であるため、米の価格や収穫量が農業所得へ大きな影響を及ぼします。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による外食産業等の低迷による米余りなどを要因とした米価格の低下により、個々の農業所得が低下したと考えられます。	(千円) 				目標達成度 ---	
		(状況) 農産物の売上高(JA)は4,960百万円で、前年度と比較し、84百万円増加しており、総合計画基準値(H28)と比較し507百万円向上し、順調です。 (原因) 風評被害に対する安全・安心のPR効果により、消費者の理解が得られたこと等により売上高が増加したと考えられます。	(百万円) 				目標達成度 (向上) (達成)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 多様な担い手の育成・確保

基本事項 02 農林業生産環境の整備・保全

基本事項 03 農業経営の安定確保

基本事項 04 特産農産物の生産振興

基本事項 05 特産農産物の販売促進

基本事項01 多様な担い手の育成・確保

指標	認定農業者率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		【農政課】	%	7.4	7.2	7.0	9.3
評価	基準値は、2015（H27）年に取得した数値です。						☁ (横ばい)
	<p>(状況) 認定農業者率は7.0%で、前年度と比較すると0.2ポイント減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると0.4ポイント減少し、ほぼ横ばいです。</p> <p>(原因) 国・県の各種施策は、認定農業者を対象要件とする方向に転換してきており、経営の規模拡大等を計画する意欲的農業者は、認定農業者の認定を受け農業所得の向上を目指す一方で、経営規模の維持、縮小を考えている農業者は、高齢化や認定メリットが希薄であることを理由に、認定を更新しないなどから、農業者数全体に対する認定農業者数割合が横ばいで推移していると考えられます。</p>						■ (低)

基本事項01 多様な担い手の育成・確保

指標	担い手への農地利用集積面積（累計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		【農政課】	ha	1,865.0	3,173.4	3,238.1	2,200.0
評価	<p>(状況) 担い手への農地利用集積面積（累計）は3,238.1haで、前年度と比較すると64.7ha増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると1,373.1ha増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 規模縮小や離農する農家から経営規模の大きい個人、団体への集積が進んできていると考えられます。</p>						☀ (向上)
							🏰 (達成)

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標	耕作放棄地面積（累計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		【農政課】	ha	482	541	549	458
評価	<p>(状況) 耕作放棄地面積（累計）は549haで、前年度と比較すると8ha増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると67ha増加しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 旧市内、稲田、小塩江、大東、長沼地域において農業従事者の高齢化や担い手不足、条件が悪く、受け手（借り手）が見つからないなどを理由に耕作放棄地が増加していると考えられます。</p>						☔ (低下)
							■ (低)

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標	基盤（ほ場）整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		【農政課】	%	48.9	49.9	50.4	50.3
評価	<p>(状況) 基盤（ほ場）整備率は50.4%で、前年度と比較すると0.5ポイント、総合計画基準値（H28）と比較すると1.5ポイント増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 県営土地改良事業を行っている「前田川地区」及び「森宿地区」の整備が順調に進んでいるためです。</p>						☀ (向上)
							🏰 (達成)

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な担い手の育成・確保
基本事項 02	農林業生産環境の整備・保全
基本事項 03	農業経営の安定確保
基本事項 04	特産農産物の生産振興
基本事項 05	特産農産物の販売促進

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標	農村環境保全取組面積率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	%	40.4	45.3	45.1	43.7	(向上)
評価	(状況) 農村環境保全取組面積率が45.1%で、前年度と比較すると0.2ポイント減少しましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると4.7ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 活動組織数は、平成28年度の39組織から43組織に増加していますが、前年度より1組織減少したことにより、取組面積が減少したものと考えられます。						目標達成度
							(達成)

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標	各種補助により生産施設等を整備した件数 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	件	18	30	46	38	(向上)
評価	(状況) 各種補助による生産施設等を整備した件数 (累計) は46件で、前年度と比較すると16件増加し、総合計画基準値 (H28) と比較し28件増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 県補助事業を活用し、キュウリの共同選果場1件、イチゴのパイプハウス2件、キュウリのパイプハウスが13件導入されたことが要因と考えます。						目標達成度
							(達成)

基本事項03 農業経営の安定確保

指標	水田フル活用推進助成金の交付対象者数 (延べ人数)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	人	562	304	303	620	(低下)
評価	(状況) 水田フル活用推進助成金の交付対象者数 (延べ人数) は303人で、前年度と比較すると1人減少、総合計画基準値 (H28) と比較すると259人減少しており、順調ではありません。 (原因) 平成30年度から米の生産数量調整目標値が廃止されたことに伴い、生産規模が小さい農業者を中心に飼料用米から主食用米へ転換したことにより減少したものと考えられます。						目標達成度
							(低)

基本事項03 農業経営の安定確保

指標	収入減少対策に加入している農家数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	人	274	266	253	300	(低下)
評価	(状況) 収入減少対策に加入している農家数は253人で、前年度と比較すると13人減少、総合計画基準値 (H28) と比較すると21人減少しており、順調ではありません。 (原因) 令和元年産頃まで米の価格が上昇傾向にあったことや、米・畑作物の収入減少対策である収入保険とナラシ対策の加入要件となる認定農業者数が減少していることが要因と考えられます。						目標達成度
							(低)

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 多様な担い手の育成・確保

基本事項 02 農林業生産環境の整備・保全

基本事項 03 農業経営の安定確保

基本事項 04 特産農産物の生産振興

基本事項 05 特産農産物の販売促進

基本事項03 農業経営の安定確保

指標	キュウリ、ナスの病害虫防除面積（市補助事業による防除面積）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【農政課】	ha	27.4	47.5	49.3	30.0	
評価	<p>(状況) キュウリ、ナスの病害虫防除面積（市補助事業による防除面積）は49.3haで、前年度と比較すると1.8ha増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると21.9ha増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 平成29年度から開始したネコブセンチュウ対策の周知が図られたことにより、病害虫防除対策をする農業者が前年度と比較し27名増加し、防除面積も1.8ha増加しました。</p>						(向上) 目標達成度 (達成)

基本事項04 特産農産物の生産振興

指標	代表的な産地指定農産物キュウリのJA出荷量	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【農政課】	t	5,380	5,057	4,962	→	
評価	<p>(状況) 代表的な産地指定農産物キュウリのJA出荷量は4,962tで、前年度と比較すると95t減少、総合計画基準値（H28）と比較すると418t減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 高齢化による農家戸数・作付面積の減少に伴い、出荷量が減少したことが要因と考えられます。</p>						(低下) 目標達成度 (低)

基本事項04 特産農産物の生産振興

指標	代表的な特産農産物日本ナシのJA出荷量	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【農政課】	t	1,200	977	684	→	
評価	<p>(状況) 代表的な特産農産物日本ナシのJA出荷量は684tで、前年度と比較すると293t減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると516t減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 前年度は黒星病や果樹カメムシなど、病害虫の発生により出荷量が減少したことが要因と考えられます。</p>						(低下) 目標達成度 (低)

基本事項05 特産農産物の販売促進

指標	代表的な産地指定農産物キュウリのJA販売額	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【農政課】	百万円	1,563	1,583	1,801	→	
評価	<p>(状況) 代表的な産地指定農産物キュウリのJA販売額は1,801百万円で、前年度と比較すると218百万円増加しており、総合計画基準値（H28）と比較すると238百万円増加するなど、順調です。</p> <p>(原因) 対前年度比で218百万円（約14ポイント）増となりましたが、これは新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う「巣ごもり需要」の高まりなどにより、販売単価が上昇したことなどが要因と考えられます。</p>						(向上) 目標達成度 (達成)

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 多様な担い手の育成・確保

基本事項 02 農林業生産環境の整備・保全

基本事項 03 農業経営の安定確保

基本事項 04 特産農産物の生産振興

基本事項 05 特産農産物の販売促進

基本事項05 特産農産物の販売促進

指標	代表的な特産農産物日本ナシのJA販売額 【農政課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき																
		百万円	282	288	324	→																	
評価	<p>(状況) 代表的な特産農産物のJA販売額(日本ナシ)は324百万円で、前年度と比較すると36百万円増加しており、総合計画基準値(H28)と比較すると42百万円増加し、順調です。 (原因) 日本ナシの旬を迎える時期が、関東地方から東北地方へと産地リレーが順調に進んだことや、販売単価が上昇したことで販売額が増加したことが要因と考えられます。</p>	<p>(百万円)</p> <table border="1"> <caption>特産農産物日本ナシのJA販売額実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>販売額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>282</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>288</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>285</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>288</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>324</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>324</td> </tr> </tbody> </table>					年度	販売額 (百万円)	H28	282	H29	288	H30	285	R01	288	R02	324	R03	-	R04	324	<p>☀ (向上)</p> <p>目 標 達成度</p> <p>🏠 (達成)</p>
		年度	販売額 (百万円)																				
H28	282																						
H29	288																						
H30	285																						
R01	288																						
R02	324																						
R03	-																						
R04	324																						

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 03 商工業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市内商工業事業所	市内商工業の振興が図られています。

施策の成果状況と評価

指標	経営状況が良いと感じている事業所の割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	%	18.1	19.6	8.3	→
評価	（状況）経営状況が良いと感じている事業所の割合は8.3%で、前年度と比較すると11.3ポイント減少しました。また、総合計画基準値（H28）と比較すると9.8ポイント減少しており、順調ではありません。 （原因）新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によるものと考えられます。						目 標 達 成 度

指標	収益が増加した事業所の割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	%	18.9	20.6	9.2	→
評価	（状況）収益が増加した事業所の割合は9.2%で、前年度と比較すると11.4ポイント減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると9.7ポイント減少しており、順調ではありません。 （原因）新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によるものと考えられます。						目 標 達 成 度

指標	雇用調整を実施した事業所の割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	%	6.2	4.5	16.7	→
評価	（状況）雇用調整を実施した事業所の割合は16.7%で、前年度と比較すると12.2ポイント増加しました。また、総合計画基準値（H28）と比較すると10.5ポイント増加しており、順調ではありません。 （原因）新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によるものと考えられます。						目 標 達 成 度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 商業の振興

基本事項 02 工業の振興

基本事項 03 中心市街地の活性化

基本事項01 商業の振興

指標	市内卸売・小売業年間売上高	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	百万円	131,450	-	-	
評価	基準値は、2014（H26）年に取得した数値です。						---
	（状況）成果指標は、商業統計調査及び経済センサス活動調査に基づき取得していますが、令和3年12月時点で公表されていないため、実績値を取得することができません。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受けていることが懸念されます。						目 標 達 成 度

基本事項01 商業の振興

指標	市内卸売・小売業事業所数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	店	623	-	-	
評価	基準値は、2014（H26）年に取得した数値です。						---
	（状況）成果指標は、商業統計調査及び経済センサス活動調査に基づき取得していますが、令和3年12月時点で公表されていないため、実績値を取得することができません。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受けていることが懸念されます。						目 標 達 成 度

基本事項01 商業の振興

指標	市内卸売・小売業事業所従業員数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	人	4,355	-	-	
評価	基準値は、2014（H26）年に取得した数値です。						---
	（状況）成果指標は、商業統計調査及び経済センサス活動調査に基づき取得していますが、令和3年12月時点で公表されていないため、実績値を取得することができません。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受けていることが懸念されます。						目 標 達 成 度

基本事項02 工業の振興

指標	市内製造品出荷額等（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	百万円	172,527	168,496	162,741	
評価	基準値は、2014（H26）年に取得した数値です。						---
	（状況）市内製造品出荷額等は162,741百万円で、前年度と比較すると5,755百万円減少し、総合計画基準値（H26）と比較すると9,786百万円減少しており、順調ではありません。 （原因）市内企業の多くは、中小企業・小規模企業であり、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等のほか、発注元の取引企業の需給関係や社会経済状況等の低下による生産の調整などが影響しているものと考えられます。						目 標 達 成 度

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 商業の振興

基本事項 02 工業の振興

基本事項 03 中心市街地の活性化

基本事項02 工業の振興

指標	市内工業事業所数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工課】	社	172	158	163	→	
評価	基準値は、2014（H26）年に取得した数値です。						---
	（状況）市内工業事業所数は163社で、前年度と比較すると5社増加しました。ただし、総合計画基準値（H26）と比較すると9社減少しており、順調ではありません。 （原因）市内企業の多くは、中小企業・小規模企業であり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う取引企業との需給関係や社会経済状況等による事業の統廃合、さらには、事業者の後継者問題、全国的な労働力不足などにより減少しているものと考えられます。						目 標 達成度

基本事項02 工業の振興

指標	市内工業事業所従業員数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工課】	人	6,964	6,852	6,729	→	
評価	基準値は、2014（H26）年に取得した数値です。						---
	（状況）市内工業事業所従業員数は6,729人で、前年度と比較すると123人減少し、総合計画基準値（H26）と比較すると235人減少しており、順調ではありません。 （原因）市内企業の多くは、中小企業・小規模企業であり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う大手企業の生産数減少が市内企業に波及し、生産調整、労働力調整・雇い止めなど、雇用に対しての需要が減ったことから減少したものと考えられます。						目 標 達成度

基本事項03 中心市街地の活性化

指標	市内中心部における平日歩行者通行量（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工課】	人/日	2,026	2,573	2,382	2,700	
評価	（状況）市内中心部における平日歩行者通行量は2,382人で、前年度と比較すると191人減少していますが、総合計画基準値（H28）と比較すると356人増加しており、成果は向上しています。 （原因）令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により平日の来街者が減少しましたが、総合計画基準値（H28）と比較すると市庁舎の開庁や市民交流センター、風流のはじめ館の開館などにより、中心市街地への来街者が増加したためと考えられます。						---
	目 標 達成度						

基本事項03 中心市街地の活性化

指標	商店会等加盟店舗数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工課】	店舗	161	160	160	165	
評価	（状況）商店会等加盟店舗数は160店舗で、前年度と比較すると同数ですが、総合計画基準値（H28）と比較すると1店舗減少しており、順調ではありません。 （原因）新型コロナウイルス感染症の影響がある中での新規出店がある一方、後継者問題や高齢化による既存店の閉店があるためです。						---
	目 標 達成度						

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 04 観光振興と交流促進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
須賀川市に訪れる人	須賀川市を訪れ滞在する人が増加します。

施策の成果状況と評価

指標	平日14時に本市に滞在していた人数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【観光交流課】	人	56,786	55,493	56,582	58,500
評価	<p>（状況）国の地域経済分析システム（RESAS）によると、平均滞在人口（4月～6月平均）は56,582人です。なお、総合計画基準値（H28）は1年間の平均、H29年度からH30年度までの実績値は4月から8月の平均です。</p> <p>県外からの来訪者（4月～6月の累計人数）は、上位順に、宮城県583人（R1:904人⇒321人減）、東京都381人（R1:730人⇒349人減）、栃木県347人（R1:538人⇒191人減）、埼玉県302人（R1:512人⇒210人減）、神奈川県218人（R1:463人⇒245人減）となっています。</p> <p>（原因）新型コロナウイルス感染症の影響により、県外からの来訪者は減ったものの、市外への移動を自粛した市民が増えたと推測され、平均滞在人口は横ばいになったと考えられます。</p>	<p>（人）</p>		目標 達成度			
指標	休日14時に本市に滞在していた人数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【観光交流課】	人	58,598	59,074	59,046	60,400	
評価	<p>（状況）国の地域経済分析システム（RESAS）によると、平均滞在人口（4月～6月平均）は59,046人です。なお、総合計画基準値（H28）は1年間の平均、H29年度からH30年度までの実績値は4月から8月の平均です。</p> <p>県外からの来訪者（4月～6月の累計人数）は、上位順に、宮城県509人（R1:1,006人⇒497人減）、東京都465人（R1:1,546人⇒1,081人減）、埼玉県399人（R1:966人⇒567人減）、栃木県366人（R1:704人⇒338人減）、茨城県227人（R1:616人⇒389人減）となっています。</p> <p>（原因）新型コロナウイルス感染症の影響により県外からの来訪者は減ったものの、市外への移動を自粛した市民が増えたと推測され、平均滞在人口は横ばいになったと考えられます。</p>	<p>（人）</p>		目標 達成度			

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 観光誘客の推進

基本事項 02 都市間交流・国際交流の推進

基本事項 03 空港利活用の促進

基本事項 04 観光施設の適切な維持管理

基本事項01 観光誘客の推進

指標	観光庁策定「観光入込客統計に関する共通基準」に係る観光入込客数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【観光交流課】	人	1,235,234	1,333,985	782,400	1,500,000	
評価	(状況) 観光庁策定「観光入込客統計に関する共通基準」に係る観光入込客数は782,400人で、前年度と比較し551,585人減、総合計画基準値（H28）と比較しても452,834人減と大幅に減少しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光需要が大きく落ち込むとともに、釈迦堂川花火大会や松明あかしなどの大規模イベントが中止・規模縮小となったためです。						指標の うごき

基本事項02 都市間交流・国際交流の推進

指標	都市間交流補助事業の活用団体数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【観光交流課】	団体	3	2	1	8	
評価	(状況) 都市間交流補助事業の活用団体数は1団体で、前年度と比較し1団体減少し、総合計画基準値（H28）と比較し2団体減少しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により市民レベルでの交流事業が実施困難な状況となったためです。						指標の うごき

基本事項02 都市間交流・国際交流の推進

指標	国際交流に関心がある市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【観光交流課】	%	42.2	-	42.7	→	
評価	(状況) 国際交流に関心のある市民の割合は42.7%で、実績値は2年に1度実施の市民アンケート取得であるため、前年度との比較はできませんが、前回（H30）40.6%と比較すると、2.1ポイント上昇し、総合計画基準値（H28）と比較すると0.5ポイント増加し、横ばいです。 (原因) 福島空港における国際チャーター便の利用者が令和元年度まで増加傾向にあったことや、東京オリンピックの開催などにより、外国人との交流に対する市民の関心度は高まっていると推測されます。						指標の うごき

基本事項03 空港利活用の促進

指標	福島空港の利用者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【観光交流課】	人	247,706	259,721	68,355	→	
評価	(状況) 福島空港の利用者数は68,355人で、前年度と比較し191,366人減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると179,351人減少し、開港以来最少の利用者数となりました。搭乗率で見ると、札幌便が63.6%から36.8%に、大阪便が57.3%から46.9%に、それぞれ減少しています。チャーター便については、国内線が55便から24便に、国際線が174便から0便に減少しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、利用需要が落ち込むとともに、運航便数も激減したことが、利用者数の大幅な減少の要因と考えられます。						指標の うごき

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 観光誘客の推進

基本事項 02 都市間交流・国際交流の推進

基本事項 03 空港利活用の促進

基本事項 04 観光施設の適切な維持管理

基本事項03 空港利活用の促進

指標	本市事業を活用した福島空港利用者数（参考値） 【観光交流課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		人	493	479	12	700	
評価	<p>(状況)本市事業を活用した福島空港利用者数は12人で、前年度に比べ467人減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると481人減少しました。</p> <p>(原因)令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、航空機の運休が続いたことや、都道府県間の人の往来を自粛するように国県等の要請が発出されたことが要因と考えられます。</p>					<p>---</p> <p>目 標 達成度</p> <p>---</p>	

基本事項04 観光施設の適切な維持管理

指標	観光施設の指定管理者制度導入施設利用者数（参考値） 【観光交流課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		人	84,610	150,896	95,284	95,000	
評価	<p>(状況)観光施設の指定管理者制度導入施設利用者数は95,284人で、前年度と比較し55,612人減少しましたが、総合計画基準値（H28）と比較し10,674人増加しており、目標値を達成しています。なお、観光施設の指定管理者導入施設については、4施設となっています。</p> <p>(原因)新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、観光需要が落ち込んだことから、施設利用者数が減少しました。なお、指定管理導入施設は、平成29年度から1施設増加したことにより、目標値を達成しています。</p>					<p>---</p> <p>目 標 達成度</p> <p>---</p>	